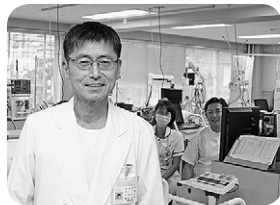


？★ここが知りたい！★ 米沢市立病院紹介 ⑦

☆泌尿器科編☆

今回は、泌尿器科長兼人工透析室長の高岩正至医師にお話を聞いてみましょう。

(写真：人工透析室にて撮影)



Q 泌尿器科では、どんな病気を治療するのですか？

A 後腹膜臓器といわれる、お腹の後ろ側にある副腎・腎臓・尿管・膀胱そして尿道などを主に扱う診療科です。男性の学童期から20歳ぐらいでは急に陰嚢の痛みなどが出る精巣捻転症、高校生から30歳ぐらいでは陰嚢にしこりが出る精巣腫瘍という病気があります。これらは稀な病気ですが、タイムリーな診断・治療が必要ですので、恥ずかしがらず早めに受診されることをお勧めします。

成人後に多い病気は、男女共に排尿に問題が出る膀胱炎、腎盂腎炎、尿路結石症などがあります。

50歳を過ぎたぐらいから多い病気としては、男性ではおしっこが出にくくなる前立腺肥大症など、女性では頻尿や尿が漏れてしまう過活動膀胱などがあります。

当科では、75歳から90歳ぐらいの患者さんが多くなっています。男女共に多い病気は、脳・脊髄・骨盤などの神経を原因とする神経因性膀胱や、細菌などの感染によって起こる尿路感染症などの病気です。これらの患者さんには合併症が多くあります。お薬やタイムリーな処置による病気の管理やコントロールはもちろんですが、メンタル面でのサポートにも力を入れて診療を行っています。

また、腎臓の働きが悪くなり人工的に血液の浄化が必要とされる患者さんには、人工透析の治療を行っています。心臓や脳、代謝疾患などの合併症も多く経過が長くなりますので、患者さんとの人間関係を大切に、看護師や臨床工学技士などのスタッフと共に診療に取り組んでいます。

◆問合せ／市立病院総務課経営企画室 ☎22-2450 ◆ホームページ／<http://yonezawa-city-hospital.jp/>